

令和 8 年 9 月

作成者 広報広聴委員会

令和 8 年度稲沢市議会意見交換会報告書

■ テー マ 「子育てしやすいまちづくりについて語ろう」

(同じテーマに対し少人数で行うために、3つの委員会に分かれて、意見交換会を行いました。)

グループ割	総務委員会	文教厚生委員会	経済建設委員会
参加団体	市内公立保育園の保護者代表（30名）		
開催日時	令和 8 年 8 月 22 日（土）10:00～11:30		
開催場所	稲沢市役所		

■ 報告内容 参加者からの主な意見

※議員の発言は参加者の意見には記載しておりません。



総務委員会



文教厚生委員会



経済建設委員会

保育園の運営・体制の改善

- ・稲沢市は慣らし保育が実質１０日間程度と短いので、他市並みの１か月程度の慣らし期間を設定して欲しい。
- ・旗当番等で下の子を連れて対応する必要があるため、早い時間帯に預けることができるよう対応して欲しい。
- ・保育園に外国籍の園児や保護者が多く、意思疎通や相互理解の面での対応が課題の一つ。言語の違いによる行き違いを減らすため、翻訳機器等を活用しながら必要な情報を丁寧に伝える取り組みをさらに進めて欲しい。
- ・保護者のＳＮＳ利用や情報発信について一定のルールやガイドラインを設けて欲しい。

療育と保育の両立支援

- ・保育園利用に月 60 時間以上の就労が必要だが、療育、作業療法、言語訓練に定期的に通い、その付き添いもしながら就労時間を確保することが非常に厳しい。療育への付き添いは介護に当たらないため、就労要件の緩和条件に該当しない。家庭の実情に応じた就労要件の柔軟な取扱いを希望する。
- ・保護者が孤立し、深刻な状況になる前に相談や支援につながる体制作りを希望する。
- ・障がいの程度や障害者手帳の有無だけで区切るのではなく、対象にはならなくても、実際に支援を必要としている子どもや家庭がある。制度の狭間にいる子どもや家庭にも支援が届く仕組みを希望する。

学童保育・学校施設の活用

- ・大里西の児童クラブが小学校から遠いので小学校の中に児童クラブを作ることができないか。
- ・小学校のグラウンドを地域の子どもの遊び場として利用するなど、学校施設を含む既存の場所を

活用できるよう検討して欲しい。

学校や登下校に関する意見

- ・登下校の見守りを外部委託にすることができないか。
- ・地域によって旗当番の負担が重くなる場所がある。
- ・祖父江地区は複式学級となる可能性が高く、1クラスしかない学校では、人間関係トラブル時に「逃げ道がない」ので大きめの学校が望ましい。
- ・稲沢市部活動地域移行がまだ始まっていない。今後どうなるのか不安がある。

屋内遊技施設の充実

- ・稲沢市には屋内で遊べる場所が少ない。あっても民間施設のため有料である。夏が熱くなったので、市の施設にも屋内で遊べる場所があったら嬉しい。
- ・天候に左右されず、子どもが安心して遊ぶことができる施設が必要と思う。

道路環境・安全面の整備

- ・通学路が草で覆われており、通行が困難。雑草が多いことによるマダニ対策をして欲しい。
また、公園によっては草が伸びており、小さな子どもを遊ばせる際に気になる。
- ・工場周辺で登園と退勤時間が重なるため、信号がない危険な交差点での安全対策を進めて欲しい。
- ・歩道・道路の段差や凹凸があり、ベビーカー利用時に引っかかって転倒したことがある。

公園施設の充実

- ・公園自体はたくさんあるが、駐車場がない、行きたい公園はあるが車が停められないからやめることが多いため、駐車場を整備して欲しい。

- ・遊具の塗装の剥がれがあり、子どもがけがをした。補修をして欲しい。
- ・身近な公園にはブランコや鉄棒などの基本的な遊具も少ないので増やして欲しい。
- ・古い遊具を直すだけでなく、新しい遊具の導入も進めて欲しい。
- ・東緑町さくら公園のトイレにいつも鍵がかかっていて使えない。
- ・公園のトイレが汲み取り式で暗く、子どもはほぼ使わない。衛生的にも良くない。
- ・公園の遊具はある程度大きな子ども向けのもので、小さい子どもが遊べるものが少ないため、乳児など低年齢の子どもが安心して遊べる遊具を設置して欲しい。
- ・市内に水遊びができる公園が欲しい。
- ・「半日遊べる公園」が市内に少なく、半日過ごそうと思うと市外を選ぶことが多い。
- ・愛西市のHASUパークのように、公園・道の駅・飲食・休憩がセットになった場所は使いやすい。
- ・公園での自転車練習が禁止されていると注意を受けたことがあるので、ルールの明確化をして欲しい。

広報広聴委員長のまとめ

今年度で第9回目となる「意見交換会」を開催いたしました。今回は市内の公立保育園から30名の保護者代表の皆様にご参加いただき、「子育てしやすいまちづくりについて語ろう」をテーマに、活発な意見交換を行いました。また、今回は稲沢市役所内での開催とし、終了後には議場見学会も併せて実施するなど、大変有意義な機会となりました。ご参加いただきました皆さまに御礼申し上げます。

稲沢市では、令和6年度より「インクルーシブ保育」を導入し、障がいのあるお子さんや個別配慮・支援を必要とするお子さんも含め、共に育ち合う包括的な保育体制の充実に努めています。今回の意見交換会におきましても、子育てや教育に関するご意見にとどまらず、

道路整備や公園の安全・利便性向上など、市民生活の中でのアイデアやご提言を数多くいただくことができました。

参加者アンケートでは「良かった」「まあまあ良かった」との回答を多くいただき、「時間の経過とともに発言しやすい雰囲気となり良かった」との声もいただいています。一方で、「今回の意見や提言に対し、今後、稲沢市や議会としてどのように具体化・対応していくのか」「子育て世代へ積極的に情報を発信してほしい」というご指摘もいただきました。

皆さまからいただいた貴重な声・要望を確かな環境改善や政策立案へと繋げていくため、今後も積極的な広報広聴活動を推進し、より市民の皆様に身近で開かれた稲沢市議会を目指してまいります。今後も広報広聴委員会へのご協力をお願いいたします。